



各位

平成29年2月8日

上場会社名 古河機械金属株式会社  
 代表者 代表取締役社長 宮川 尚久  
 (コード番号 5715)  
 問合せ先責任者 経理部長 酒井 宏之  
 (TEL 03-3212-7021)

## 平成29年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年11月7日に公表いたしました平成29年3月期通期連結業績予想値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 連結業績予想の修正

平成29年3月期通期連結業績予想値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成28年11月7日発表)	146,000	6,000	5,700	3,500	8.66
今回修正予想(B)	149,000	6,000	5,700	3,500	8.66
増減額(B-A)	3,000	0	0	0	
増減率(%)	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	161,799	7,988	6,227	5,056	12.51

## 2. 連結業績予想の修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、前回（平成28年11月7日）発表の業績予想における前提を、下期で銅価4,800米ドル/トン、為替100円/米ドルとしていましたが、直近の動向を考慮し、第4四半期では、銅価を5,800米ドル/トン、為替を110円/米ドルへ変更しました。直近の状況から判断して、産業機械部門、ユニック部門では減収となる見込みですが、金属部門では、銅価の上昇と円安により増収となり、ロックドリル部門でも増収が見込まれるため、連結全体の売上高を上方修正しています。営業利益については、円安などにより金属部門では増益を見込んでいる一方、産業機械部門とユニック部門では減収による減益が見込まれるため、セグメント別内訳を見直しましたが、連結全体の営業利益は前回発表どおりとしています。なお、内外の不透明な情勢から決算期末日における為替相場が見通せないため、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、修正していません。

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上